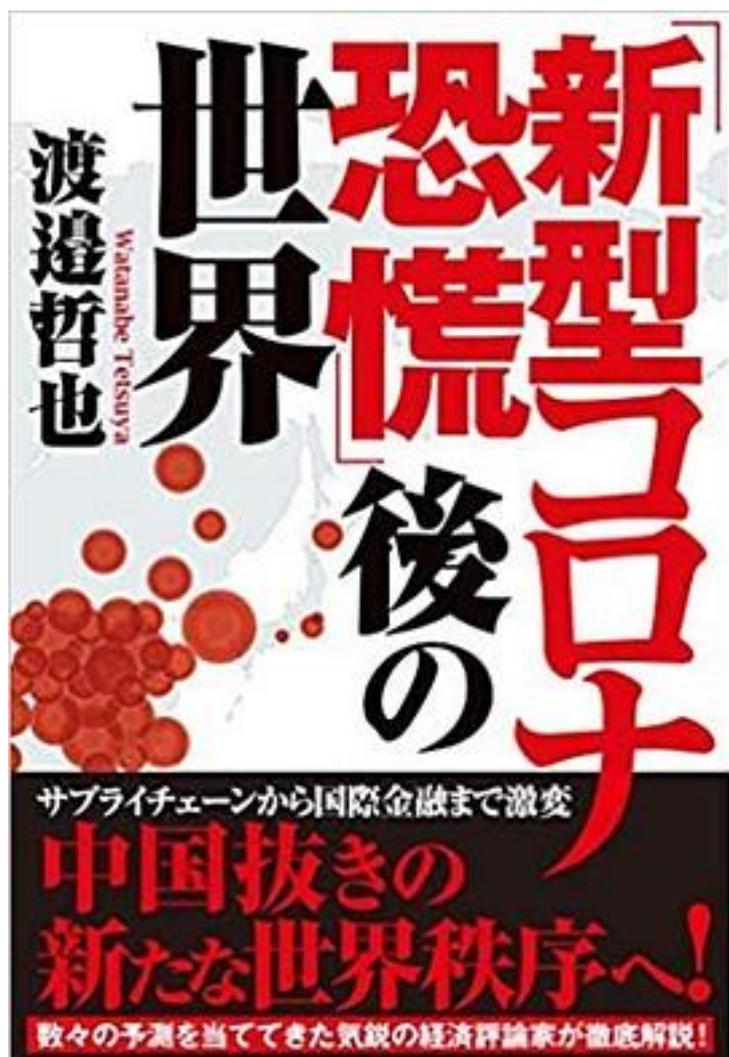


「新型コロナ恐慌」後の世界



[「新型コロナ恐慌」後の世界_ダウンロード1](#)

著者:渡邊 哲也

出版者:徳間書店

出版时间:2020-3-27

装帧:平装

isbn:9784198650117

中国発の新型コロナウイルスはついにパンデミックと認定され、世界中にパニックを巻き起こしている。

ニューヨーク・ダウは史上最大の下げを繰り返し、日経平均も急落を続けている。

はたしてこの状態はどこまで続き、その後、世界はどうなっていくのか。

世界で反グローバリズムの気運が高まり、2020年1月31日にはイギリスがEU離脱を果たした。

その直後、グローバリズムの恩恵により急速な経済成長を実現してきた中国で新型肺炎が発生、その結果、中国のサプライチェーンが麻痺し、世界経済は大混乱に陥った。

加えて、春節の中国人大移動によって世界中にウイルスが拡散されたことで、各国は国を閉じ、他国からの渡航者を締め出す事態にまでなっている。

著者は、グローバリズムの終焉、米中貿易戦争、そしてこの新型コロナウイルス問題により、世界は中国依存から中国排除への転換が進み、新たな国際秩序が構築されていくと説く。

その先に何が起こるのか。そして日本の行方は。

作者紹介:

渡邊/哲也

作家・経済評論家。1969年生まれ。日本大学法学部経営法学科卒業。貿易会社に勤務した後、独立。複数の企業運営などに携わる。大手掲示板での欧米経済、韓国経済などの評論が話題となる。内外の経済・政治情勢のリサーチや分析に定評があり、さまざまな政策立案の支援から、雑誌の企画・監修まで幅広く活動を行っている。著書多数(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録: プロローグ 「新型コロナ」恐慌で始まる負の連鎖

第1章

「武漢ウイルス」で中国はどこまで崩壊するか(グローバリズムにとどめを刺したブレグジットと新型コロナ
そして中国から外国人がいなくなったほか)

第2章

アメリカは弱り目の中国を、こうして潰す(アメリカと中国の「第1弾合意」の本当の意味

「第2弾合意」は実現可能かほか)

第3章 危機を乗り越え日本は繁栄する(新型コロナが日本に与える悪影響
中国を損切りできなかった日本政府の失態ほか)

第4章

グローバリズムの終焉で逆転する世界(冷戦終結からグローバル化が加速した世界経済

グローバル化のなかで中国に吸い取られた日本企業ほか)

第5章 「新型コロナ」後の世界(遅すぎたWHOの初動対応
日本の親中派には大きなダメージほか)

• • • • • [\(收起\)](#)

[「新型コロナ恐慌」後の世界_下载链接1](#)

标签

经济

渡邊哲也

日本

新冠病毒

新冠后的世界

政治

国际形势

评论

[「新型コロナ恐慌」後の世界_下载链接1](#)

书评

[「新型コロナ恐慌」後の世界_下载链接1](#)